

# 岐阜県図書館

## 平成 28 年度アクションプラン

### －岐阜県図書館の使命を果たすために－

#### 【はじめに】

岐阜県図書館は、平成 25 年度末に 26 年度から 5 年間の方針を新たに「岐阜県図書館の運営方針 平成 26 年度～平成 30 年度」として決めました。この中に掲げた当館の「使命」は次のとおりです。

#### －岐阜県図書館の使命－

**「岐阜のひとづくり、ものづくり、まちづくりを支えます」**

**(1) 資料の収集・保存・提供を通じて、県民の生涯学習と個人や地域の課題解決を支援します。**

**(2) 県の中核図書館として、県内市町村図書館等のサービス向上を支援します。**

「岐阜県図書館の運営方針 平成 26 年度～平成 30 年度」には、この「使命」を果たすために、4 つの柱立ての下、6 つの「目標」と 44 の「方策」を記しています。

また、岐阜県図書館は平成 27 年度には新館開館 20 周年及び来館者数 1,500 万人を達成しました。これを契機に、新たに「情報共有・発信型図書館」を実現するための取組を実施してまいります。

#### 【アクションプランについて】

当館では、この「運営方針」を着実に実施していくため、さらに年度ごとの具体的実行計画を「アクションプラン」として作成しました。「アクションプラン」には、「運営方針」に掲げられた目標を達成するために、その年度に重点的に実施する取組を記しています。

具体的には、「資料の収集・保存」「図書館サービス」「県内市町村図書館等への支援」「職員研修・広報活動」という 4 つの柱ごとに、「目標」、前年度明らかになった「課題」とそれに対する「新たな取組」「継続する取組」を記しています。また、それぞれの取組の成果を検証しやすいよう、可能なものについて数値目標を設定しています。

また、平成 28 年度からは、「情報共有・発信型図書館」を目指す取組についても記すことといたしました。

当館は、以下に記した 28 年度の取組を着実に実行に移し、県図書館としての使命を果たしたいと考えています。

## I 「岐阜県図書館の運営方針」の推進

### 1 資料の収集・保存

#### (1) 目標

県民の生涯学習と個人や地域の課題解決を支援するため、専門性の高いもの、特色あるものを中心に資料を収集・保存します。

#### (2) 平成 27 年度図書館評価や社会の要請による課題

点検及び評価の結果、課題として次のことが挙げられました。

- ・県民の課題解決のため重点的に取り組むこととした「子育て世代・子育て支援関係者向け」、「障がい者（児）・福祉関係者、特別支援教育向け」、「海外情報の収集・発信」の分野（重点3分野）の資料収集を進めること。
- ・市町村図書館との役割分担の観点から、県図書館と市町図書館の蔵書を比較し、重複を避ける工夫が必要である。

こうした結果と運営方針を踏まえ、平成 28 年度、以下の取組を実施します。

#### (3) 平成 28 年度の取組

<新たな取組>

取 組	具体的内容
ア 重点分野の図書の実充とコーナー設置	平成 28 年度は重点 3 分野のうち「海外情報」コーナーの設置を行います。
イ 各分野の専門家による蔵書評価の計画的な実施と資料収集への反映	重点 3 分野について、それぞれ専門家に依頼して蔵書評価を実施し、選書の際の参考とします。
ウ 市町村図書館の蔵書調査実施	平成 27 年度に実施した岐阜市との蔵書比較に引き続き、市町と県の収集役割の分担を協議、市町で活用する方法を検討します。
エ 利用者目線の館内表示と資料排架	新コーナーの設置に合わせて館内案内表示や掲示物の改善、利用者に手に取ってもらいやすい図書資料の排架方法を検討し、進めます。

<継続する取組>

個別、専門的なニーズや課題に迅速・的確に対応できるよう、次の取組を継続します。

- ・レファレンスサービスや「しらべかた案内」（パスファインダー）に連動した資料収集
- ・複本の計画的な除籍

## 2 図書館サービス

### (1) 目標

- ① 県民の読書活動を生涯にわたって支援し、学びの機会の提供を通じて、県図書館が人の育っていく「知のプラットフォーム」として機能することを目指します。
- ② 行政機関や関係機関・団体、地域の企業等と連携しながら、資料の提供・レファレンスサービス等を通じて県民や地域の課題解決を支援します。
- ③ コンピュータシステムによる検索機能の強化、特色ある資料のデジタル化の推進、インターネット等を活用した情報発信の充実等により、情報サービスの向上を図ります。
- ④ 講演会や読書活動推進イベントを開催し、県図書館の新規利用者の獲得を図ります。

### (2) 平成 27 年度図書館評価や社会の要請による課題

点検及び評価の結果、課題として次のことが挙げられました。

- ・郷土を知り学び、ふるさとへの誇りと愛着を育む機会を創出する必要がある。
  - ・県民の課題解決支援を充実するため、県行政機関や関係機関・団体等とのさらなる連携強化を図る必要がある。
  - ・重点分野を含め、専門的なレファレンスサービスのへの対応強化が必要。
  - ・世界に開かれた交流の場を創出するための取組が必要。
- こうした結果と運営方針を踏まえ、平成 28 年度、以下の取組を実施します。

### (3) 平成 28 年度の取組

#### ① 生涯学習の支援及び施設を利用した学習機会等の提供

<新たな取組>

取 組	具体的内容
ア 郷土作家に係る情報発信の強化	1 階企画展示室において郷土作家を紹介する常設展示等を行うとともに、「郷土作家・監督の作品の映画上演会」を開催します。
イ 講演会や読書活動推進イベントの開催	国内外の有識者による講演会や各年齢層に応じた読書活動推進イベントを開催し、新規利用者の獲得を図ります。
ウ 開架スペースにおける図書の展示	県民の読書活動を応援するため、月毎に旬なテーマを選定する「司書のお奨めの本」コーナーや、郷土関係展示コーナー、児童企画展示コーナーのほか、講演会、共催事業等に併せた特集展示を開架スペースにおいて行います。

エ 障がい者用機器の充実	障がい者の図書館利用を支援するため、障がい者用バリアフリー機器や視覚障がい者用ソフトウェアなどの充実を図ります。
オ グループでの貸室利用の促進	2階の「行政資料研究室」、「研修室」を図書館資料による調査研究やミーティングにさらに活用されるよう、ビジネスユーザー等に積極的にPRし、利用拡大を図ります。
カ 参加型図書館サービスの創出	司書と利用者がともに参加するワークショップ等を開催するなど、図書館の活動に主体的に参加したい人を募り、新たな図書館サービスの創出を図ります。

<継続する取組>

県民の読書活動を応援し、学びの機会を提供するため、次の取組を継続します。

- ・おはなし会の実施（英語・韓国語・中国語など含む）
- ・児童図書研究室資料を活用した、子どもと本を結ぶ活動・研究の支援
- ・児童図書における郷土作家リストの作成・提供
- ・高校を対象にしたセット文庫の貸出
- ・利用が困難な県民の時間・距離を縮めるサービスへの取組

② 課題解決の支援と他機関との連携

<新たな取組>

取 組	具体的内容
ア 県政サポートサービスの実施	県庁まで図書資料を届ける「本・雑誌の貸出サービス」や県の施策立案を支援する図書を図書館が購入する「本の購入リクエスト」、行政レファレンス等の利用拡大を図ります。
イ 行政機関・団体との連携	行政機関や関係団体等が多目的ホール等図書館施設を利用して開催するセミナー等の共催実施を増大し、関連する図書資料のブックリスト配布等により連携を強化・拡大します。
ウ 他の文化施設等との連携事業の実施	美術館や博物館や歴史資料館等の文化施設との連携による展示や講演会などを実施します。

<継続する取組>

行政機関や関係機関・団体と連携し、県民や地域、行政機関の課題解決を支援

するため、以下の取組を継続します。

- ・県民や地域の課題解決に即した図書館活用講座の開催（お父さんお母さんのための読み聞かせ講座、図書館探検ツアー等）
- ・「しらべかた案内」（パスファインダー）の作成と利用促進、ホームページでの公開
- ・「夏休みわくわく地図教室」、「児童生徒地図作品展」の開催（日本地図センター及び国土地理協会助成事業）

### ③ 情報サービスの充実

<新たな取組>

取 組	具体的内容
ア Wi F i 環境の整備	パソコン利用者向けサービスを強化するため、電気通信事業者が提供するW i F i 環境を整えます。

<継続する取組>

公共図書館情報システムやホームページの活用、図書資料のデジタル化による情報サービスの向上のため、次の取組を継続します。

- ・地図資料のデジタル化とホームページでの公開
- ・岐阜県関係新聞記事のデータベースの充実
- ・国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの提供
- ・デジタル化資料「授業で使える県図書館所蔵地図」の利用促進
- ・ホームページのマイライブラリ機能の活用促進

### ④ 施設・設備の維持管理

<新たな取組>

取 組	具体的内容
ア 企画展示室改修	文化施設から貴重な展示物を借用して特別展示を行うには、現在の企画展示室は、展示物の陳列、空調、免震、調光、燻蒸の5つの要素の機能が十分でないため、展示室機能高度化のための工事を実施します。
イ 送風機インバータ改修工事	ロビーなど空調を入れる箇所の増加に対応するため、送風機インバータを改修することで、冷暖房効率をあげるとともに快適な環境の提供につなげます。
ウ 屋外渡り廊下及び避難階段改修工事	開館後20年が経過し、施設の老朽化が著しい屋外渡り廊下及び避難階段のタイル張り替えやサビ止め加工等を実施します。

<継続する取組>

中期保全計画に基づき、施設・設備の維持管理工事を実施する。

- ・空調設備改修工事

### 3 県内市町村図書館等への支援

#### (1) 目標

市町村図書館等との相互協力や連携の推進、市町村図書館職員の資質向上にも努め、県内図書館のサービス向上を支援します。

#### (2) 平成 27 年度図書館評価や社会の要請による課題

点検及び評価の結果、課題として次のことが挙げられました。

- ・県図書館の利用が困難な県民の時間・距離を縮めるサービスの充実が必要である。
  - ・市町村図書館等が開催する研修会は座学主体であるため、職員の資質向上を支援する観点から、より実践的な研修機会を提供する必要がある。
- こうした結果と運営方針を踏まえ、平成 28 年度、以下の取組を実施します。

#### (3) 平成 28 年度の取組

<新たな取組>

取 組	具体的内容
ア 岐阜県公共図書館館長サミットの開催	県内の公共図書館の館長が、特定テーマで意見交換する会議（サミット）を開催します。

<継続する取組>

県図書館が県の中核図書館として市町村図書館等を支援するため、以下の取組を継続します。

- ・相互貸借の利用促進
- ・市町村図書館等職員に対する階層別・目的別研修の実施
- ・児童サービス実践研修講座の開催
- ・市町村図書館等への職員の講師派遣
- ・地区別の意見交換会の実施

### 4 職員研修・広報活動

#### (1) 目標

多様な研修によって職員の資質向上に努めるとともに、効果的な広報活動の実施により、県図書館の周知向上に努めます。

## (2) 平成 27 年度図書館評価や社会の要請による課題

点検及び評価の結果、課題として次のことが挙げられました。

- ・県図書館の利用促進を図るため、県図書館の特色や魅力等の広報を工夫する必要がある。
- ・専門的なレファレンスに対応するための司書の分化・深化及び専門分野の研修受講が必要である。
- ・職員の一層の資質向上を図るため、経験年数や必要とするスキルに応じ、計画的に研修会等へ派遣する必要がある。

こうした結果と運営方針をふまえ、平成 28 年度、以下の取組を実施します。

## (3) 平成 28 年度の取組

<新たな取組>

取 組	具体的内容
ア 職員のスキルの向上	県図書館を支えるスタッフ（司書等）に対し、情報発信力などのスキルを向上するための研修を行います。
イ 名誉館長を活用した広報の実施	平成 28 年 1 月に女優 紺野美沙子氏が名誉館長に就任しました。今後、当館において朗読会・講演会の開催のほか、記念行事への出席、広報への協力、図書館運営への助言などを予定しています。
ウ パンフレット等を活用した図書館の利用促進	平成 27 年度に作成した利用者向けの「岐阜県図書館活用ハンドブック」を関係機関、業界団体等に積極的に配布し、図書館の機能を周知することで新規利用者の獲得を図ります。

<継続する取組>

職員の資質を磨き、図書館サービスの向上を図るとともに、県図書館の特色や魅力、便利な利用方法等の周知を図るため、以下の取組を継続します。

- ・定期的なレファレンス研修及び全体会議等を利用した研修の実施
- ・他団体の主催する講座・研修会への職員の計画的な派遣
- ・ソーシャルネットワーキングサービスの活用やホームページの一層の充実による情報発信
- ・地図作品展や地図活用研究会の成果を活用した授業の実施促進による地図資料の広報

## II 新たなステージを迎えた岐阜県図書館（再掲含む）

開館20周年を機に県図書館のリニューアルを実施するにあたり、これまでの図書・資料の収集や、その利用相談等の取組みに加え、県内各地の様々な魅力や資源を共有して発信し、「清流の国ぎふ」づくりの一翼を担う「情報共有・発信型図書館」の実現を目指します。

### 【3つの柱】

- I 郷土を知り学び、ふるさとへの誇りと愛着を育む機会の創出  
(郷土の作家や偉人、歴史・民俗、伝統文化を知り伝承する)
- II 県民の課題解決を支援する図書館サービスの提供
- III 世界に開かれた交流の場の創出

3つの柱を進めるために、次の2つの観点からもリニューアルに取り組みます。

### 【2つの方策】

- (1) 県内市町村等との連携や、他の文化施設との連携
- (2) これら取組みを支える基盤として、県図書館の環境整備

これら様々な学ぶ機会の提供を通じて、県図書館が人が育っていく「知のプラットフォーム」として機能することを目指します。

### 【平成27年度企画コーディネーター会議について】

平成27年度に設置した企画コーディネーターによる会議において、県図書館の諸課題を検討しました。

その中で今後の図書館のターゲットとして、「ビジネス利用者」、「子育て世代」、「高齢者」を想定し、必要となるサービスや機能等について意見交換を行いました。

その結果、司書の経験不足や、PR不足など県図書館の弱みを克服するための取組や、「児童図書研究室」をはじめとする100万点以上の所蔵資料や、図書館間のネットワークなど県図書館の強みを生かすための取組について提案がありました。

## 1 企画コーディネーターの設置

○平成 28 年度の取組

<新たな取組>

取 組	具体的内容
ア 企画コーディネーターの設置	「情報共有・発信型図書館」とするために、27年度中に設置した民間有識者3名の「企画コーディネーター」から助言を得て、28年度以降の事業の企画立案を行うとともに、広報などの情報発信や施設運営の方法などについても、指導・助言をいただきます。

## 2 名誉館長の設置

○平成 28 年度の取組

<新たな取組>

取 組	具体的内容
ア 名誉館長の設置	平成28年1月に女優 紺野美沙子氏が名誉館長に就任しました。今後、当館において朗読会・講演会の開催のほか、記念行事への出席、広報への協力、図書館運営への助言などを予定しています。

## 3 郷土を知り学ぶ機会の創出

飛騨・美濃の様々な資料を収集・提供するとともに、これに必要な司書等のスキルアップを図り、郷土にかかる県民のニーズに応えられる体制を整備します。

○平成 28 年度の取組

<新たな取組>

取 組	具体的内容
ア 「郷土作家」展示の常設化	1階企画展示室において郷土作家を紹介する常設展示を開始します。また、市町村等とも連携し、郷土ゆかりの作家も含め、テーマ毎に特集を組みます。
イ 郷土にゆかりの映画上演会	郷土作家や岐阜県出身の監督の映画作品などを上演します。

<継続する取組>

- ・「児童生徒地図作品展」の開催
- ・ぎふけん・おすすめの1冊コンクール記念講演会（講師：郷土作家等）

#### 4 県民の課題解決を支援する図書館サービスの提供

「岐阜のひとづくり、ものづくり、まちづくり」を支える図書館として、レファレンス等を通し、県民の方々の課題解決を手助けできる司書等のスタッフの充実を図りながら進めます。

##### ○平成 28 年度の取組

<新たな取組>

取 組	具体的内容
ア 子育て世代・子育て支援関係者への支援	専門家から意見を聞き、児童図書、児童図書研究資料等の充実を検討します。
イ 障がい者（児）・福祉関係者、特別支援教育への支援	バリアフリー機器（助聴器、拡大読書器など）、ソフトウェア（音声ブラウザ）を導入します。また、専門家から意見を聞き、福祉関連図書等の充実を検討します。
ウ ビジネス支援	ビジネス支援として2階「行政研究室」や「研究室」の積極的な活用を働きかけます。 また、平成27年度に作成した利用者向けの「岐阜県図書館活用ハンドブック」を関係機関、業界団体等に積極的に配布し、図書館の機能を周知し、また関係機関とのセミナー等の共催を進めることで、図書館の利用を促します。

<継続する取組>

- ・「夏休みわくわく地図教室」の開催
- ・図書館探検ツアー（図書館活用講座）の実施

#### 5 世界に開かれた交流の場の創出

「清流の国ぎふ」づくりの一翼を担う、情報発信型の図書館として、グローバル社会にも対応した図書館イベントを通じ、県民の方々が、歴史や文化、国際的に活躍する人々と交流する場を創り出します。

その他、図書館における読書活動推進イベントを実施し、交流の場として機能させます。

○平成 28 年度の取組

<新たな取組>

取 組	具体的内容
ア 海外情報コーナーの新設	1 階開架閲覧室内に、外国語資料のほか、各国情勢や文化・民俗、語学の関連図書等を集めたコーナーを新設します。
イ 国内外の有識者による講演会、シンポジウム等の開催	海外情報コーナーと連携し、国際分野の有識者による講演会等を開催します。
ウ 読書活動推進イベントの開催	名誉館長 紺野美沙子氏による朗読会、大学教授や県図書館司書によるブックトーク、オープンエアで楽しむ図書館などを実施します。

<継続する取組>

[幼児・小中学生向け]

- ・おはなし会（年 5 2 回 英語・韓国語・中国語含む）

[高校生以上向け]

- ・楽習会（年 6 回 共催：岐阜大学教育学部教育講座）
- ・おすすめの 1 冊コンクール・講演会

6 県内市町村等との連携、他の文化施設との連携

○平成 28 年度の取組

<新たな取組>

取 組	具体的内容
ア 県内の市町村・学校・大学の図書館等との連携強化	岐阜県公共図書館館長サミットを開催します。また、県図書館の利用が困難な県民の時間・距離を縮めるサービスの充実に取り組みます。
イ 他の文化施設との連携	美術館や博物館や歴史資料館等の文化施設との連携による展示や講演会などを実施します。

<継続する取組>

- ・相互貸借の利用促進、図書館未設置の 8 町村に対する貸出文庫を継続、「楽天いどう図書館」の利用促進
- ・県美術館の企画展に連動した蔵書コーナー設置

## 7 県図書館の環境整備

### ○平成 28 年度の取組

#### <新たな取組>

取 組	具体的内容
ア 企画展示室改修	文化施設から貴重な展示物を借用して特別展示を行うには、現在の企画展示室は、展示物の陳列、空調、免震、調光、燻蒸の5つの要素の機能が十分でないため、展示室機能高度化のための工事等を実施します。
イ 県図書館司書のスキルアップ	県図書館を支えるスタッフ（司書等）に対し、情報発信力などのスキルを向上するための研修を行います。
ウ 館内環境の整備	利用者にわかりやすい図書の配置や館内表示を実現するとともに、通信事業者が提供するW i F i 環境の整備など、新たな図書館利用者ニーズへの対応を検討します。
エ 広報の強化	名誉館長を活用した県図書館のP R を行う。また、図書館広報紙を見直し、新たにイベントカレンダーを作成するとともに、メールマガジンを発行することで情報発信を強化し、新規利用者の獲得を図ります。
オ 参加型図書館サービスの創出	司書と利用者がともに参加するワークショップ等を開催するなど、図書館の活動に主体的に参加したい人を募り、新たな図書館サービスの創出を図ります。

#### <継続する取組>

- ・資料のデジタル化の実施
- ・資料を活用したグループワークに対する研究室貸し出し

# 平成28年度評価指標

## ○資料の収集・保存

	指標	実績	H26	H27	H28
基本的な指標	資料費	実績	5000万円(全国21位)	5000万円	5000万円
	資料点数 (本館資料+読書活動支援資料)	実績	1,010,407点(全国18位)	1,020,787点	点
	閉架書庫の残存率	実績	-	11.3%	%
	蔵書構成(上位3分類)	実績	1位「社会科学」154,167冊 2位「文学」117,608冊 3位「歴史」73,258冊	1位「社会科学」162,196冊 2位「文学」119,317冊	
	分類別図書購入冊数(上位3分類)	実績	1位「社会科学」2,027冊 2位「児研資料」1,206冊 3位「自然科学」1,061冊	1位「社会科学」2,256冊 2位「児研資料」1,437冊 3位「自然科学」1,160冊	
資料提供	リクエストに対する資料提供率 *(購入+相互貸借/リクエスト総数)×100	目標	-	-	97%
		実績	97%	99.7%	
		達成率	-	-	

## ○図書館サービス

	指標	実績	H26	H27	H28
基本的な指標	専任司書数/職員総数	実績	18人/53人	18人/54人	18人/58人
	新規登録者数	実績	6,047人	4,143人	人
	障がい者サービス新規登録人数 /登録総数	実績	12人/411人	6人/417人	人/人
	入館者数	実績	567,046人	526,729人	人
	貸出冊数	実績	657,549冊	554,197冊	冊
生涯学習の 利用した学習 機会等の提供	児童図書研究室資料のパッケージの 貸出件数	目標	-	-	20件
		実績	10件	15件	
		達成率	-	-	
	セット文庫貸出件数 *小中学校、高校・特別支援学校等	目標	90件	90件	90件
		実績	75件	92件	
		達成率	83%	102%	
録音図書貸出点数 *カセットテープとDAISYの合計	実績	3252件	2693件		
窓口サービス満足度(総合含む) *大変満足+満足	目標	90%	90%	90%	
	実績	99.8%	95.0%		
	達成率	111%	106%		
課題解決 の支援	県図書館レファレンス件数 (所蔵・口頭を除く)	目標	8,000件	8,000件	8,000件
		実績	8,238件	7,605件	
		達成率	103%	95%	
	県行政機関(県職員)からのレファ レンス件数	実績	44件	70件	
	県図書館レファレンス満足度 *大変満足+満足	目標	90%	90%	90%
		実績	95%	97%	
達成率		106%	108%		
サ ス ビ	郷土・地図資料の展示及びメディア 掲載・放映用貸出点数	実績	106点	47点	点

○県内市町村図書館等への支援

指標		実績	H26	H27	H28
基本的な指標	県民一人あたりの貸出数（県内全図書館）	目標	5.3冊	5.3冊	5.3冊
		実績	5.29冊	5.82冊	
		達成率	99.8%	109.80%	
	県内相互貸借定期便 資料流通点数	目標	22,000点	22,000点	22,000点
		実績	19,790点	20,988点	
		達成率	89%	95%	
	県図書館が主催する県内図書館職員向け研修会の参加者数	実績	318人	330人	人
	県図書館職員による出前講座の派遣件数	目標	25講座	25講座	25講座
		実績	28講座	28講座	講座
達成率		108%	112%		
満足度の	県図書館が主催する県内図書館職員向け研修会における満足度指数	目標	90%	90%	90%
		実績	99.0%	98.5%	
		達成率	110%	109%	

○広報活動

指標		実績	H26	H27	H28
広報	県図書館ホームページアクセス件数	目標	300,000件	300,000件	300,000件
		実績	247,102件	293,278件	
		達成率	82%	97.8%	